

出来る限り、以下の様式に沿った議事録を作成下さいますようお願いいたします。

(様式 2)

議事録番号

提出 2024 年 10 月 20 日

会合議事録

研究会名：SPRUC 文化財研究会

日 時：2024 年 7 月 27 日 (土) 16:20~17:10

場 所：青山学院大学 青山キャンパス 17 号館

※日本文化財科学会第 41 回大会中に開催された「文化財科学への放射光応用推進ワーキンググループ」と合同で実施

出席者：(議事録記載者に下線) 田中 眞奈子 (代表：東京藝大)、阿部 善也 (副代表：電機大)、上相 英之 (奈文研)、田端 正明 (佐賀大)、藤田 全基 (東北大)、小倉 頌子 (樫考研)、降幡 順子 (京博)、谷口 陽子 (筑波大)、奥山 誠義 (樫考研)、水本 和美 (東京藝大) ほか、本会の非会員を含む

計 58 名

議題：

1. 文化財分野における放射光利用にむけた状況説明 (代表 田中 眞奈子)
2. SPring-8 での最近の研究成果のご紹介 (奈良文化財研究所 上相 英之)
3. 新知創造学際ハブについて (東北大学 藤田 全基)
4. SPring-8 II 計画の説明ならびに NanoTerasu ユーザー共同体との連携について (副代表 阿部 善也)
5. 意見交換

議事内容：

- ・ 田中代表より、「文化財分野における放射光利用にむけた状況説明」として、SPring-8 の具体的な利用申請方法や変更点、国内外の放射光を用いた文化財研究の最新動向が報告された。本会合には SPRUC 会員ではない文化財科学関係の研究者も多く参加しており、本会会員である放射光ユーザーのみならず、潜在ユーザー (新規ユーザーの獲得) にむけた説明を行った。
- ・ 奈良文化財研究所の上相博士より、「SPring-8 での最近の研究成果のご紹介」という題目で SPring-8 を利用した文化財研究の最新事例についてご報告いただいた。

- 東北大学の藤田教授より、「新知創造学際ハブについて」という題目で、同大学金属材料研究所を中心に令和5年度から開始したプログラム「人文科学と材料科学がつむぐ新知創造学際領域の形成」の説明と、本研究会ならびに量子ビームを用いて研究を行っている文化財研究者との今後の連携にむけたご提案をいただいた。
- 阿部副代表より、「SPring-8-II計画の説明ならびに NanoTerasu ユーザー共同体との連携について」報告を行った。JASRI の WEB サイト等で公開されている資料をベースに SPring-8-II 計画の概要を説明し、文化財研究会として提出した文化財分野の未来像、SPring-8 への期待・展望等について話をした。また、NanoTerasu ユーザー共同体との間で今後想定される連携・協力関係についても説明した。
- 参加者との意見交換を行った。